

もんぼうじ 門坊寺(美山町河内谷)

門坊寺(聞法寺)も微発対象となりました。現在は毘沙門天の祠や石段などが散在しています。慈眼寺(京都市右京区)、長谷寺(奈良県桜井市)に仏像が移ったと伝えられています。



▲毘沙門天跡

ふもんいん 普門院(日吉町中世木牧山)

周山城築城のための微発対象となり、建物は取り壊されました。江戸時代に再興された後、火災に遭いましたが、毘沙門天立像などは難を逃れ、本堂に安置されています。聖観世音菩薩は、33年に一度開帳される秘仏です。また、毎年8月24日は、牧山の松明行事が行われています。



▲普門院

光秀を支えた家臣

こばなけ 小畠氏(園部町穴人)

1575(天正3)年、織田信長は丹波の国衆の小畠氏あてに光秀の丹波平定に加勢するよう要請し、丹波攻略の上で最も重要な家臣として活躍しました。しかし、小畠氏の中心人物であった小畠国明と子・永明が、1579(天正7)年、八上城の戦いに参加するも戦死。光秀は功績を評価し、遺児となった孫・伊勢千代丸に明智姓を名乗らせ、小畠一族の家督を継がせるよう命じました。こうしたことから、光秀が小畠氏をいかに重視していたかがうかがえます。



▲小畠屋敷図(摩気神社蔵)



▲居城とした穴人城跡

丹波 明智光秀 ゆかりの地マップ

2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」の発表を受け、明智光秀ゆかりの地を紹介した観光マップが平成30年10月に発行されました。このマップでは、光秀にゆかりのある地をめぐるコースや寺社などの紹介のほか、グルメや観光スポットなどの内容が掲載されています。ぜひ手に取っていただき、光秀ゆかりの地を訪れてみてはいかがでしょうか。



▶丹波 明智光秀 ゆかりの地マップ表紙

「明智光秀と南丹市・京丹波町」パネル展

郷土史を研究する市民団体「南丹市歴史探勝会」では、「明智光秀と丹波の関連が丹波亀山城と福知山城だけでなく、南丹市や京丹波町にもあることを広く知ってもらい、盛り上げていきたい」との思いで、昨年10月から各地でパネル展を開催されています。光秀との接点があった人物や寺など、6枚のパネルで紹介されています。パネルは市役所各支所に展示する予定で、今後は各所でも予定されています。ぜひこの機会に、お立ち寄りください。



▶パネル展の様子
(園部公民館)

場所	展示期間
美山支所	展示中～1月15日(火)
日吉支所	1月16日(水)～23日(水)
八木支所	展示中～期限未定

※午前8時30分～午後5時まで、土曜、日曜、祝日を除く

配布場所…各道の駅、観光協会など
発行…森の京都DMO、兵庫県丹波県民局
制作…大丹波観光推進委員会
閩南丹広域振興局商工労働観光室
閩森の京都DMO
TEL(0771)22-9800

閩南丹市歴史探勝会 代表 小畠 寛さん
TEL 090-3032-8453